

令和7年度（令和7年4月入学）・令和6年度（令和6年秋入学）

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

博士後期課程学生募集要項

目次

I 一般入試（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学）	1
II 社会人特別入試（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学）	1 2
III 外国人留学生特別入試（令和7年4月入学・令和6年秋入学）	2 3

Doctoral Program Admission Requirements for International Students

(April Admissions for the 2025 Academic Year / Fall Admissions for the 2024 Academic Year)

学 域	専 攻	一般入試			社会人特別入試			外国人留学生特別入試	
		4月入学		秋入学	4月入学		秋入学	4月入学	秋入学
		第Ⅰ期	第Ⅱ期		第Ⅰ期	第Ⅱ期			
応用生物 学域	バイオテクノロジー専攻	6名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
物質・材 料科学域	物質・材料化学専攻	13名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
設計工 学域	電子システム工学専攻	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	設 計 工 学 専 攻	10名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
デザイン 科学域	デ ザ イ ン 学 専 攻	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	建 築 学 専 攻	7名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
繊維学域	先端ファイブプロ科学専攻	8名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	6名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出 願 期 間		第Ⅰ期・秋入学：令和6年6月20日～6月27日 第Ⅱ期：令和6年11月5日～11月12日						4月入学： 令和6年11月5日～11月12日 秋入学： 令和6年6月20日～6月27日	
学 力 検 査 日		第Ⅰ期・秋入学：令和6年8月22日 第Ⅱ期：令和6年12月7日						4月入学：令和6年12月7日 秋入学：令和6年8月22日	
合 格 発 表		第Ⅰ期・秋入学：令和6年9月4日 第Ⅱ期：令和6年12月18日						4月入学：令和6年12月18日 秋入学：令和6年9月4日	
入 学 手 続 期 間		第Ⅰ期：令和6年11月14日～11月20日 第Ⅱ期：令和7年2月13日～2月19日 秋入学：令和6年9月6日～9月12日						4月入学： 令和7年2月13日～2月19日 秋入学： 令和6年9月6日～9月12日	

※災害等により学力検査日に入学試験を実施できないと大学が判断した場合のみ、予備日に入学試験を延期することがあります。予備日は原則として、以下の日程を定めています。

一般入試・社会人特別入試 第Ⅰ期・秋入学：令和6年8月25日 第Ⅱ期：令和6年12月8日

外国人留学生特別入試 4月入学：令和6年12月8日 秋入学：令和6年8月25日

令和7年度（令和7年4月入学）・令和6年度（令和6年秋入学）

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 博士後期課程学生募集要項

1 一般入試

1 募集人員

学 域	専 攻	募 集 人 員		
		4 月 入 学		秋 入 学
		第Ⅰ期	第Ⅱ期	
応用生物学域	バイオテクノロジー専攻	6名	若干名	若干名
物質・材料科学域	物質・材料化学専攻	13名	若干名	若干名
設計工学域	電子システム工学専攻	5名	若干名	若干名
	設計工学専攻	10名	若干名	若干名
デザイン科学域	デザイン学専攻	5名	若干名	若干名
	建築学専攻	7名	若干名	若干名
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	8名	若干名	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	6名	若干名	若干名

《注》 募集人員は、あくまで合格の目安を示すもので、合格者の数を確約するものではありません。
選抜の結果によっては、合格者が募集人員に対して増減する場合または合格者がいない場合があります。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する人としてします。

- (1) 修士の学位または専門職学位（学校教育法第104条第3項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (2) 外国の大学において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた人《注 参照》

(7) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第 118 号）《注 参照》

※ 文部科学大臣の指定した人とは、次のいずれかに該当する人です。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認められた人
- ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認められた人

(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する人と同等以上の学力があると認められた人で、令和 7 年 3 月（秋入学の場合は令和 6 年 9 月）までに 24 歳に達する人《注 参照》

《注》(6)、(7)もしくは(8)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続を行ってください。

3 出願資格認定審査

(1) 『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに、申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
第 I 期・秋入学	令和6年 5月27日（月）16時まで	令和6年 6月19日（水）まで
第 II 期	令和6年10月2日（水）16時まで	令和6年11月1日（金）まで

(注) 今年度を実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

(2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

4 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間）

入試区分	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間
第 I 期・秋入学	令和6年 6月20日（木）から令和6年 6月27日（木）まで
第 II 期	令和6年11月5日（火）から令和6年11月12日（火）まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。

出願書類提出方法

入試課へ持参して提出する場合 ≪入試課≫ 松ヶ崎キャンパス 3号館 1階	○土曜日・日曜日・祝日は受付していません。 ○受付時間は 9時から 12時まで及び 13時から 16時までです。
郵送で提出する場合 ≪郵送先≫ 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係	○それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。 ○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角 2封筒に貼り付けて必要書類を封入してください。

5 出願手続（インターネット出願）

出願に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れ、誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続終了後、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

出願書類の右上に、入学願書印刷時に付番される「受験番号」を記載してから提出してください（ただし、発行時に厳封された出願書類は除きます）。

■希望指導教員への研究内容等の相談について

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ「教員一覧」をご覧ください。

(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。なお、研究室の希望状況は入試の可否には一切関係ありません。

〔出願書類〕

(1) 入学願書	インターネット出願システム (https://www.postanet.jp/info/010050/) にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『6 検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。
(2) 学業成績証明書	学部及び大学院の両方が必要です。出身大学または在籍大学の学長もしくは学部長（研究科長）が作成したものを提出してください。《注1》
(3) 修士（専門職学位）課程修了（見込）証明書	出身大学の修士（専門職学位）課程修了証明書。ただし、令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）修了見込みの人は、修士（専門職学位）課程修了見込証明書とします。《注2》
(4) 修士論文の概要	修士論文（修士課程における特定の課題についての研究成果等これに相当するものを含む）の概要（日本語1,000字または英語500語程度に要約したもの）を提出してください。ただし、修士課程修了見込みの人は、修士論文の研究題目あるいは修士課程における特定の課題とその研究の進捗状況について、日本語2,000字以内に要約した研究経過報告書を提出してください。《注3》
(5) 研究計画書	本学のホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html) より様式をダウンロードし、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(6) その他	ア. 現在、他の大学院（博士後期課程）に在学中の人は、当該大学院の受験許可書 イ. 官公庁、企業等に在職中のまま入学しようとする人は、所属長の受験許可および就学承諾書（社会人特別入試を希望する人は、12ページ以降参照） ウ. 外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。 エ. 経済困窮者に対する授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（10ページ参照）。

《注1》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の学業成績証明書とし、学長または学部長もしくは学校長が作成したものとします。

《注2》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の卒業証明書とします。

《注3》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、提出は不要です。

※一部の出願書類については本学ホームページの入試情報 (https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html) よりダウンロードできます。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

※出願書類に係る個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続のみに使用します。

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

6 検定料の支払

30,000円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が不要または免除されることがあるため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

対象者	条件	必要書類等	検定料
本研究科博士前期課程 修了見込み者	4月入学の場合は 令和7年3月修了見込み 秋入学の場合は 令和6年9月修了見込み	修了見込証明書	不要
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の 申請予定者	国費外国人留学生であることを 証明する書類	不要
大規模な風水害等により 被害を受けた人	風水害等の発生が 出願期間前の概ね1年以内	別途指示します	全額免除の 場合あり

7 障害等のある人との事前相談について

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

① 相談の時期

原則として、出願期間開始日の1週間前まで。

② 相談の方法

相談書（健康診断書などの必要書類添付）を提出してください。必要な場合は、本学において出願者の事情を説明できる人との面談等を行います。

8 出願についての注意事項

(1) 次の場合には、出願書類を受理しません。

- ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合
- ② 出願書類がそろっていない場合
- ③ 出願書類の記載が不完全な場合
- ④ 検定料が支払われていない場合

(2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

(3) 出願書類は、原則返還しません。

また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

- ① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合
- ② 検定料を誤って二重に支払った場合

※ 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

(4) 出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

9 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

10 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

バイオテクノロジー専攻

人材育成の目標

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

ライフサイエンスに関する特に優れた知識を有し、実験科学に関する豊かな創造性、英文の読解や表現に優れた人を求めます。

物質・材料化学専攻

人材育成の目標

本専攻では、物質・材料化学の諸領域における教育研究を通じて、次代を担う革新的な物質・材料開発研究において基礎及び応用の両面で先導的な役割を果たすことができ、実践的外国語能力や国際経験をもって国際舞台で活躍できる、創造性豊かな優れた人材の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

物質・材料化学における開発研究への強い興味と意欲、創造的研究を遂行する上で不可欠な基礎知識、ならびに英語の理解力及び問題解決能力

電子システム工学専攻

人材育成の目標

本専攻では、深い専門的知識を有し、研究開発のアプローチに精通している国際性豊かな研究者の養成を目的としています。特に、フォトニクス、パワーエレクトロニクス、電子デバイス、集積回路、電子材料、波動工学、そして、プラズマ科学の重点研究分野で活躍できる人材、俯瞰的視野に立って問題発見能力を有する人材、さらに、その問題解決が社会に提供する価値を最大化する方向に向けて知の構造化、再構成をはかる能力を有する人材、異分野との境界領域を開拓できる人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

修学及び研究活動に必要な英語力並びに専門基礎学力を求めます。

設計工学専攻

人材育成の目標

現代社会の産業技術をリードできる学識と実践技術を身につけた工学者の育成を目標としています。工学技術の先端研究を切り開くための精神力、国際的な社会動向への鋭い感性と地域貢献の視点をもち、個人的能力に加えて、組織を管理運営できるリーダーシップをもち、国際的に活躍できる人材を育成しています。

専攻で対象とする「もの」すなわち人工物は、人間の身の回りの日用品や製品から、情報システム、機械システム、それらの複合体である高機能で複雑な社会システムまで多岐にわたります。各人の専門分野での探求対象である人工物について、複数の仕組みや方式を選択肢として列挙・比較・開発・評価する総合的・実証的な設計工学(engineering design)技能を体得します。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を

判定します。

求める能力と適性

個別工学分野の高度の専門性を習得するための基礎学力、ものづくりの創造的な展開に対する意欲と実行力、グローバルに活動を展開するための言語運用能力等を選抜の基準とします。

デザイン学専攻

人材育成の目標

本専攻では、様々な社会的課題に適用可能な独自のデザイン理論・方法論を持ち、異分野の専門家との混合チームをディレクターとして主導することができる能力を身に付け、また、キュレーション学領域では、美術、デザイン、建築についての深い洞察にもとづくオリジナリティのある研究論文が作成できるとともに、その成果を「企画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」といったかたちで社会に示す高い「キュレーション」能力を身につけた人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

デザインに関する応用的・横断的知識と制作経験を持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、深いデザインとその周辺知識に加え創造的なデザイン方法論を研究・実践していく意欲ある人を求めます。また、知識習得ならびに理論的研究のみならず、美術館・博物館での展示等の社会的実践に繋げていく意欲のある人を求めます。

建築学専攻

人材育成の目標

本専攻では、都市・建築のデザイン、遺産のストック活用とマネジメント、都市・建築の技術、環境、歴史、文化に関する理論及び応用力を身に付け、都市・建築に関する研究者として自立的に活動できる能力、あるいは都市・建築設計、再生マネジメント等に関する高度な専門業務に従事できる能力を有し、研究成果を広く学界や社会、さらに国際社会に発信していく積極性と説明能力、研究や専門業務を遂行する上での協調性を獲得し、今後も自ら発見した課題を専門分野や関連分野への視野を拡大させつつ展開させ、学術論文に作り上げていく能力を有した人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者になるための素養を持ち、なおかつ、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を理解し、地球規模で考えながら、幅広い建築学の能力を磨く強い意志を持っている人を求めます。

先端ファイブロ科学専攻

人材育成の目標

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを基礎とする「人と環境に優しいものづくり」に関わる教育研究活動を通して、自らの力で研究開発目標を設定し、それを具現化するための技術課題を見出し、さらには解決することができる総合力に優れた国際的に通用する人材を育成することを目標としています。

選抜の方針・ポリシー

自然科学に関する基礎学力と研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験と英語の試験により求める能力・適性を判定します。特に、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

求める能力と適性

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

バイオベースマテリアル学専攻

人材育成の目標

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術を横断的に理解して自らリーダーシップを発揮し、国際的に行動を起こせる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれをを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析および成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解し幅広い分野で応用ができる人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により適性を測ります。

求める能力と適性

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために持続可能な社会を実現する必要性を理解し、有機化学、物理化学、生化学、高分子化学、材料科学の内の少なくとも一つに十分な知識を有し、かつ他分野の知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。

11 学力検査日時、検査方法及び場所等

(1) 学力検査日

第Ⅰ期・秋入学：令和6年8月22日（木）

第Ⅱ期：令和6年12月7日（土）

(2) 検査方法（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学共通）

専攻	区分	学力検査科目・時間	配点	内容
全専攻	筆記試験	外国語 10：30～12：00（90分）	100	英語
先端ファイブ科学専攻	口述試験	13：00～	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。
上記を除く専攻		13：30～		

(3) 試験場

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地）

試験室等は、次の日までに本学のホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）

及び入試課前掲示板に掲示します。

第Ⅰ期・秋入学：令和6年8月21日（水）

第Ⅱ期：令和6年12月6日（金）

◆ オンライン試験の実施について

学力検査実施日において、京都工芸繊維大学ダブルディグリー・プログラムにより、海外の大学院に留学中の者がオンライン試験を希望する場合は、時間を調整の上、オンラインミーティングシステム（Cisco Webex Meetings、Skype等）を利用して学力検査を実施します。

※ 語学研修、グローバルインターンシップ、単位取得のみを目的とした留学は対象外です。

(4) 受験についての注意

共通の注意事項

1) 持参物

試験には、次の物を持参してください。

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票
- ② 筆記用具（HB程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム）
- ③ 時計（携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。）

※試験中机の上に置けるもの

受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフは不可）、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身のみ袋から取り出したもの）、目薬、マスク

2) 受験上の留意事項

- ① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。
- ② 試験当日は試験開始20分前までに試験場に到着し、各科目の試験開始15分前までに所定の試験室または口述試験控室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ③ 試験開始後、20分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。
- ④ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。

- ⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑦ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度 20 分を超過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。
- ⑧ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。

3) 禁止事項

- ① 試験中は、受験票と上記「1) 持参物」中の※で記載したもの、並びに試験監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。
- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。
- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。
- ⑤ 試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。
- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、試験当日に各専攻から貸与される物品がある場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書・電子手帳など）は使用できません。
- ⑦ 各建物のエレベーターの使用を禁止します。

4) その他

- ① 試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせします。
<https://www.kit.ac.jp/>
- ② その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

12 合格発表

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）に発表します。
なお、合格者には、入学願書に記載された受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

第Ⅰ期・秋入学：令和6年9月4日（水）17時（予定）

第Ⅱ期：令和6年12月18日（水）17時（予定）

13 入学手続

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は合格通知書に同封します。

第Ⅰ期

入学手続期間 令和6年11月14日（木）から令和6年11月20日（水）（17時必着）まで

第Ⅱ期

入学手続期間 令和7年2月13日（木）から令和7年2月19日（水）（17時必着）まで

秋入学

入学手続期間 令和6年9月6日（金）から令和6年9月12日（木）（17時必着）まで

14 入学に要する経費

- (1) 入学料 282,000円
ただし、令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）に本研究科博士前期課程を修了し、引き続き令和7年4月（秋入学の場合は令和6年9月）に本研究科博士後期課程に進学する人は不要です。
- (2) 授業料 267,900円（半期） 535,800円（年額）
令和7年4月入学者に対する授業料免除制度は、『15 入学料・授業料の免除等制度』をご確認ください。
- (3) 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料
3年間の保険料 3,620円（予定）
- ① 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。
 - ② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
 - ③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。
 - ④ その他、必要に応じて納入する諸経費があります。
 - ⑤ 納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。
 - ⑥ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
 - ⑦ 入学手続時に入学に要する経費を納入した後で、令和7年3月31日（月）17時（秋入学の場合は令和6年9月24日（火）17時）までに入学を辞退した場合は、申し出により入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係へ問い合わせてください。

15 入学料・授業料の免除等制度

- ◆ 一般入試に合格し、令和7年4月に入学する者に対する授業料免除制度
一般入試に合格し、令和7年4月に入学する者で、1ページに記載の『2 出願資格(1)~(5)』に規定する修士、専門職学位等の学位を取得した日の属する月の翌月から1年以内に入学する人は、所定の申請に基づき、標準修業年限（3年間）の間、授業料が全額免除されます。
※令和6年2月以前に修士、専門職学位等の学位を取得し、令和7年4月に入学…授業料免除対象外
令和6年3月以降に修士、専門職学位等の学位を取得し、令和7年4月に入学…授業料免除対象
ただし、社会人特別入試および外国人留学生特別入試は対象外です。
- ◆ 経済困窮者に対する入学料・授業料の免除等制度
上記に該当しない場合であっても、経済的理由により入学料・授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または一部を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。
令和7年度前期分（秋入学は令和6年度後期分）の授業料免除の申請方法は、外国人留学生（在留資格が「留学」の人、及び本学入学時までに「留学」の在留資格を取得する人）とそれ以外の人とで次のとおり異なります。
詳細は、学生支援・社会連携課経済支援係へ問い合わせてください。
- 令和7年度前期分（秋入学は令和6年度後期分）の授業料免除の申請方法
 - (1) 外国人留学生（在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人）のうち、下記のいずれかに該当する人
 - I. 私費外国人留学生
 - II. 出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます）
出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。
 - ① 申請期間
入試の出願期間に、「②申請書類」を出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。出願期間の詳細は、2ページの『4 出願期間』を参照してください。
 - ② 申請書類
・授業料免除申請書類一式（本学所定様式）

本学ホームページ (https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/) よりダウンロードしてください。

③ 選考結果の通知

合格発表日に申請書へ記載のメールアドレス宛に免除選考結果通知書を送付します。

(2) 上記(1)以外の人

入学手続後に申請を受け付けます（申請受付日は令和7年3月（秋入学は令和6年9月）の予定）。

申請方法は、合格通知書に同封する入学手続書類で確認してください。

16 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学が困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構より奨学金の貸与を受けることができます（日本学術振興会特別研究員及び外国人留学生を除く）。奨学金の種類には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。

<返還免除制度>

日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた者であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または一部の返還が免除される制度があります。また、博士後期課程入学時に、貸与終了時に決定する返還免除制度の候補者として内定される制度があります。

(2) フェロシッププログラム

本学では、我が国の産業の技術革新・産業力強化に貢献する博士人材を育成することを目的とし、博士後期課程学生を対象としたフェロシッププログラムを実施しています。選考に基づき採用された場合、月額15万円の生活費相当額と年間60万円～70万円の研究費が支給されます（日本学術振興会特別研究員、国費外国人留学生及び安定的な収入がある者を除く）。詳細は下記HPをご確認ください。

https://www.kit.ac.jp/fellowship_doctoralcourse/

(3) 国立大学法人京都工芸繊維大学基金奨学金

本学独自の奨学金制度です。願い出により選考のうえ、奨学金の給付を受けることができます。

(4) 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。願い出により選考のうえ、奨学金の貸与または給付を受けることができます。

※各制度は変更される場合がありますので、最新の情報はホームページでご確認ください。

https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/scholarship/

17 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人京都工芸繊維大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供や研究者・学生の受け入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当するおそれのある場合は、本学から経済産業省への許可申請が必要となり、すぐに教育研究活動ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経済産業省が不許可とした場合は、希望する教育研究内容の変更を求められる場合や、結果的に本学での教育研究活動ができない場合があります。

【参考】経済産業省 URL：<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

本件に関する本学問い合わせ先 研究推進・産学連携課 ken-apply@jim.kit.ac.jp

社会人特別入試

近年におけるテクノロジーのめざましい進展に伴い、より高度の研究能力を備え指導的立場に立ち得る人材の養成が求められています。このような社会的要請に応え、各種の研究機関、教育機関、企業等において職務経歴を有する社会人に対して、大学院に受け入れの道を開くことにより大学と社会の交流を深め、あわせて大学の教育研究機関としての活性化も図ろうとするものです。このような趣旨から、博士後期課程への入学にふさわしい専門知識と学力を持つ社会人に特別入試による学生募集を実施しています。

この入試により入学した人に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育（22ページの17を参照）を実施することがあります。社会人特別入試によって入学した人は社会人コースに在籍し標準在学期間は2年です。また、在籍する各種機関等での職務または、社会人としての専門的職務あるいは志望する専攻に関する職務を、博士後期課程での修得単位として認定します。

1 募集人員

学 域	専 攻	募 集 人 員		
		4月入学		秋入学
		第Ⅰ期	第Ⅱ期	
応用生物学域	バイオテクノロジー専攻	若干名	若干名	若干名
物質・材料科学域	物質・材料化学専攻	若干名	若干名	若干名
設計工学域	電子システム工学専攻	若干名	若干名	若干名
	設計工学専攻	若干名	若干名	若干名
デザイン科学域	デザイン学専攻	若干名	若干名	若干名
	建築学専攻	若干名	若干名	若干名
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	若干名	若干名	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	若干名	若干名	若干名

《注》 入試の結果によっては、合格者がいない場合があります。

2 出願資格

A～Cのいずれかに該当し、かつ、(1)～(8)のいずれかに該当する人としてします。

- A 出願時において、各種の研究機関、教育機関、企業等に正規職員として在籍し、入学後も引き続きその身分を有する人
- B 出願時において、志望する専攻に関する職務に就いており、入学後も引き続きその職務を継続する人
- C 入学時における職の有無に関わらず、過去において志望する専攻に関する職務経歴を3年以上有する人
- (1) 修士の学位または専門職学位（学校教育法第104条第3項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (2) 外国の大学において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された人及び令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）までに授与される見込みの人
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部

省令第 28 号)第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた人 《注 参照》

(7) 文部科学大臣の指定した人 (文部省告示第 118 号) 《注 参照》

※ 文部科学大臣の指定した人とは、次のいずれかに該当する人です。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人
- ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人

(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人で、令和 7 年 3 月 (秋入学の場合は令和 6 年 9 月) までに 24 歳に達する人 《注 参照》

《注》 (6)、(7)もしくは(8)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続きを行ってください。

* 本特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず希望指導教員と連絡をとり、教育方法の特例の具体的内容、研究内容及び出願資格等について確認してください。

3 出願資格認定審査

(1) 『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに、申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
第 I 期・秋入学	令和6年 5月27日 (月) 16時まで	令和6年 6月19日 (水) まで
第 II 期	令和6年10月2日 (水) 16時まで	令和6年11月1日 (金) まで

《注》 今年度を実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

(2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

4 出願期間 (インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間)

入試区分	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間
第 I 期・秋入学	令和6年 6月20日 (木) から令和6年 6月27日 (木) まで
第 II 期	令和6年11月5日 (火) から令和6年11月12日 (火) まで

上記の期間内に本学のインターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。

出願書類提出方法

<p>入試課へ持参して提出する場合</p> <p>《入試課》 松ヶ崎キャンパス 3号館 1階</p>	<p>○土曜日・日曜日・祝日は受付していません。</p> <p>○受付時間は 9時から 12時まで及び 13時から 16時までです。</p>
<p>郵送で提出する場合</p> <p>《郵送先》 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係</p>	<p>○それぞれの出願期間最終日までの消印 (日本国内) があるものについて受け付けます。</p> <p>○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル (大学送付用) をダウンロードし、市販の角 2 封筒に貼り付けて必要書類を封入してください。</p>

5 出願手続（インターネット出願）

出願に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れ、誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続終了後各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

出願書類の右上に、入学願書印刷時に付番される「受験番号」を記載してから提出してください（ただし、発行時に厳封された出願書類は除きます）。

■希望指導教員への研究内容等の相談について

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ「教員一覧」をご覧ください。

(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。なお、研究室の希望状況は入試の可否には一切関係ありません。

〔出願書類〕

(1) 入学願書	インターネット出願システム (https://www.postanet.jp/info/010050/) にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『6 検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。
(2) 学業成績証明書	出身大学または在籍大学の学長もしくは学部長（研究科長）が作成した大学院の学業成績証明書を提出してください。《注1》
(3) 修士（専門職学位）課程修了（見込）証明書	出身大学の修士（専門職学位）課程修了証明書。ただし、令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）修了見込みの人は、修士（専門職学位）課程修了見込証明書とします。《注2》
(4) 修士論文の概要	修士論文（修士課程における特定の課題についての研究成果等これに相当するものを含む）の概要（日本語1,000字または英語500語程度に要約したもの）を提出してください。ただし、修士課程修了見込みの人は、修士論文の研究題目あるいは修士課程における特定の課題とその研究の進捗状況について、日本語2,000字以内に要約した研究経過報告書を提出してください。《注3》
(5) 研究計画書	本学のホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html) より様式をダウンロードし、希望指導教員と相談のうえ提出してください。
(6) 受験許可および就学承諾書	各種の研究機関、教育機関、企業等に在職のまま、あるいは志望する専攻に関する職務を継続したまま入学しようとする人は、勤務先の所属長が作成したものを提出してください。様式は本学のホームページよりダウンロード出来ます。
(7) 職務経歴書	志望する専攻に関する職務経歴を有する人は、研究・業務歴及びその業績を記入してください。 なお、職務上の業績を説明する資料（論文、作品、図面等）を添付しても構いません。様式は本学のホームページよりダウンロード出来ます。
(8) その他	ア. 外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。 イ. 授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（21ページ参照）。

《注1》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の学業成績証明書とし、学長または学部長もしくは学校長が作成したものとします。

《注2》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の卒業証明書とします。

《注3》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、提出は不要です。

※一部の出願書類については本学ホームページの入試情報 (https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html) よりダウンロードできます。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求められることがあります。

※出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続のみに使用します。

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

6 検定料の支払

30,000円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が不要または免除されることがあるため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

対象者	条件	必要書類等	検定料
本研究科博士前期課程 修了見込み者	4月入学の場合は 令和7年3月修了見込み 秋入学の場合は 令和6年9月修了見込み	修了見込証明書	不要
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の 申請予定者	国費外国人留学生であることを 証明する書類	不要
大規模な風水害等により 被害を受けた人	風水害等の発生が 出願期間前の概ね1年以内	別途指示します	全額免除の 場合あり

7 障害等のある人との事前相談について

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

① 相談の時期

原則として、出願期間開始日の1週間前まで。

② 相談の方法

相談書（健康診断書などの必要書類添付）を提出してください。必要な場合は、本学において出願者の事情を説明できる人との面談等を行います。

8 出願についての注意事項

(1) 次の場合には、出願書類を受理しません。

- ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合
- ② 出願書類がそろっていない場合
- ③ 出願書類の記載が不完全な場合
- ④ 検定料が支払われていない場合

(2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

(3) 出願書類は、原則返還しません。

また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

- ① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合
- ② 検定料を誤って二重に支払った場合

※ 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

(4) 出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

9 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

10 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

バイオテクノロジー専攻

人材育成の目標

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

ライフサイエンスに関する特に優れた知識を有し、実験科学に関する豊かな創造性、英文の読解や表現に優れた人を求めます。

物質・材料化学専攻

人材育成の目標

本専攻では、物質・材料化学の諸領域における教育研究を通じて、次代を担う革新的な物質・材料開発研究において基礎及び応用の両面で先導的な役割を果たすことができ、実践的外国語能力や国際経験をもって国際舞台で活躍できる、創造性豊かな優れた人材の育成を目指します。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

物質・材料化学における開発研究への強い興味と意欲、創造的研究を遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力および問題解決能力、ならびに専門分野に関する社会人としての実績

電子システム工学専攻

人材育成の目標

本専攻では、深い専門的知識を有し、研究開発のアプローチに精通している国際性豊かな研究者の養成を目的としています。特に、フォトリソグラフィ、パワーエレクトロニクス、電子デバイス、集積回路、電子材料、波動工学、そして、プラズマ科学の重点研究分野で活躍できる人材、俯瞰的視野に立って問題発見能力を有する人材、さらに、その問題解決が社会に提供する価値を最大化する方向に向けて知の構造化、再構成をはかる能力を有する人材、異分野との境界領域を開拓できる人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

修学及び研究活動に必要な英語力並びに専門基礎学力を求めます。

設計工学専攻

人材育成の目標

現代社会の産業技術をリードできる学識と実践技術を身につけた工学者の育成を目標としています。工学技術の先端研究を切り開くための精神力、国際的な社会動向への鋭い感性と地域貢献の視点を持ち、個人的能力に加えて、組織を管理運営できるリーダーシップを持ち、国際的に活躍できる人材を育成しています。

専攻で対象とする「もの」すなわち人工物は、人間の身の回りの日用品や製品から、情報システム、機械システム、それらの複合体である高機能で複雑な社会システムまで多岐にわたります。各人の専門分野での探求対象である人工物について、複数の仕組みや方式を選択肢として列挙・比較・開発・評価する総合的・実証的な設計工学(engineering design)技能を体得します。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

個別工学分野の高度の専門性を習得するための基礎学力、ものづくりの創造的な展開に対する意欲と実行力、グローバルに活動を展開するための言語運用能力等を選抜の基準とします。

デザイン学専攻

人材育成の目標

本専攻では、様々な社会的課題に適用可能な独自のデザイン理論・方法論を持ち、異分野の専門家との混合チームをディレクターとして主導することができる能力を身に付け、また、キュレーション学領域では、美術、デザイン、建築についての深い洞察にもとづくオリジナリティのある研究論文が作成できるとともに、その成果を「企画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」といったかたちで社会に示す高い「キュレーション」能力を身につけた人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

デザインに関する応用的・横断的知識と制作経験を持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、深いデザインとその周辺知識に加え創造的なデザイン方法論を研究・実践していく意欲ある人を求めます。また、知識習得並びに理論的研究のみならず、美術館・博物館での展示等の社会的実践に繋げていく意欲のある人を求めます。

建築学専攻

人材育成の目標

本専攻では、都市・建築のデザイン、遺産のストック活用とマネジメント、都市・建築の技術、環境、歴史、文化に関する理論及び応用力を身に付け、都市・建築に関する研究者として自立的に活動できる能力、あるいは都市・建築設計、再生マネジメント等に関する高度な専門業務に従事できる能力を有し、研究成果を広く学界や社会、さらに国際社会に発信していく積極性と説明能力、研究や専門業務を遂行する上での協調性を獲得し、今後も自ら発見した課題を専門分野や関連分野への視野を拡大させつつ展開させ、学術論文に作り上げていく能力を有した人材の育成を目指しています。

選抜の方針・ポリシー

研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により求める能力・適性を判定します。

求める能力と適性

国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者になるための素養を持ち、なおかつ、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を理解し、地球規模で考えながら、幅広い建築学の能力を磨く強い意志を持っている人を求めます。

先端ファイブロ科学専攻

人材育成の目標

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを基礎とする「人と環境に優しいものづくり」に関わる教育研究活動を通して、自らの力で研究開発目標を設定し、それを具現化するための技術課題を見出し、さらには解決することができる総合的に優れた国際的に通用する人材を育成することを目標としています。

選抜の方針・ポリシー

自然科学に関する基礎学力と研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験と英語の試験により求める能力・適性を判定します。研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

求める能力と適性

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発

見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

バイオベースマテリアル学専攻

人材育成の目標

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術を横断的に理解して自らリーダーシップを発揮し、国際的に行動を起こせる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれをを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析および成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解し幅広い分野で応用ができる人材を育成します。

選抜の方針・ポリシー

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験、英語の試験により適性を測ります。

求める能力と適性

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために持続可能な社会を実現する必要性を理解し、有機化学、物理化学、生化学、高分子化学、材料科学の内の少なくとも一つに十分な知識を有し、かつ他分野の知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。

11 学力検査日時、検査方法及び場所等

(1) 学力検査日

第Ⅰ期・秋入学：令和6年8月22日（木）

第Ⅱ期：令和6年12月7日（土）

(2) 検査方法（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学共通）

専攻	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
全専攻	筆記試験	外国語 10：30～12：00 (90分)	100	英語
先端ファイブ科学専攻	口述試験	13：00～	200	研究分野に関連した科目についての専門的 学力、修士論文、研究経過報告書、研究計 画書等について実施する。
上記を除く専攻		13：30～		

- (3) 試験場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地）
 試験室等は、次の日までに本学のホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）
 及び入試課前掲示板に掲示します。
 第Ⅰ期・秋入学：令和6年8月21日（水）
 第Ⅱ期：令和6年12月6日（金）

(4) 受験についての注意

共通の注意事項

1) 持参物

試験には、次の物を持参してください。

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票
- ② 筆記用具（HB程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム）
- ③ 時計（携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。）

※試験中机の上に置けるもの

受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフは不可）、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身のみ袋から取り出したもの）、目薬、マスク

2) 受験上の留意事項

- ① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。
- ② 試験当日は試験開始20分前までに試験場に到着し、各科目の試験開始15分前までに所定の試験室または口述試験控室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ③ 試験開始後、20分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。
- ④ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。

- ⑦ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度20分を超過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。
- ⑧ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。

3) 禁止事項

- ① 試験中は、受験票と上記「1) 持参物」中の※で記載したもの、並びに試験監督者の指示するもの以外は机上に置いてはいけません。
- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。
- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中に入れておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。
- ⑤ 試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。
- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、試験当日に各専攻から貸与される物品がある場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書・電子手帳など）は使用できません。
- ⑦ 各建物のエレベーターの使用を禁止します。

4) その他

- ① 試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせします。
<https://www.kit.ac.jp/>
- ② その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

12 合格発表

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）に発表します。なお、合格者には、入学願書に記載された受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

第Ⅰ期・秋入学：令和6年9月4日（水）17時（予定）

第Ⅱ期：令和6年12月18日（水）17時（予定）

13 入学手続

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は合格通知書に同封します。

第Ⅰ期

入学手続期間 令和6年11月14日（木）から令和6年11月20日（水）（17時必着）まで

第Ⅱ期

入学手続期間 令和7年2月13日（木）から令和7年2月19日（水）（17時必着）まで

秋入学

入学手続期間 令和6年9月6日（金）から令和6年9月12日（木）（17時必着）まで

14 入学に要する経費

- (1) 入学金 282,000円
ただし、令和7年3月（秋入学の場合は令和6年9月）に本研究科博士前期課程を修了し、引き続き令和7年4月（秋入学の場合は令和6年9月）に本研究科博士後期課程に進学する人は不要です。
- (2) 授業料 267,900円（半期） 535,800円（年額）

(3) 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料

2年間の保険料 2,430円(予定)

- ① 入学科及び授業料の額については、改定される場合があります。
- ② 入学科の納入は、入学手続き時に行います。入学時に入学科及び授業料が改定された場合は、改定後の入学科及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
- ③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。
- ④ その他、必要に応じて納入する諸経費があります。
- ⑤ 納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。
- ⑥ 納入した入学科は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑦ 入学手続き時に入学に要する経費を納入した後で、令和7年3月31日(月)17時(秋入学の場合は令和6年9月24日(火)17時)までに入学を辞退した場合は、申し出により入学科以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係へ問い合わせしてください。

15 入学科・授業料の免除等制度

入学科・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学科・授業料の全額または一部を免除もしくは入学科・授業料の徴収が猶予される制度があります。

令和7年度前期分(秋入学は令和6年度後期分)の授業料免除の申請方法は、外国人留学生(在留資格が「留学」の人、及び本学入学時まで「留学」の在留資格を取得する人)とそれ以外の人とで次のとおり異なります。

詳細は、学生支援・社会連携課経済支援係へ問い合わせしてください。

■ 令和7年度前期分(秋入学は令和6年度後期分)の授業料免除の申請方法

- (1) 外国人留学生(在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人)のうち、下記のいずれかに該当する人
 - I. 私費外国人留学生
 - II. 出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人(国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます)

出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。
- ① 申請期間

入試の出願期間に、「②申請書類」を出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。出願期間の詳細は、13ページの『4 出願期間』を参照してください。
- ② 申請書類
 - ・授業料免除申請書類一式(本学所定様式)

本学ホームページ(https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)よりダウンロードしてください。
- ③ 選考結果の通知

合格発表日に申請書へ記載のメールアドレス宛に免除選考結果通知書を送付します。
- (2) 上記(1)以外の人

入学手続き後に申請を受け付けます(申請受付日は令和7年3月(秋入学は令和6年9月)の予定)。

申請方法は、合格通知書に同封する入学手続き書類で確認してください。

16 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学が困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構より奨学金の貸与を受けることができます(日本学術振興会特別研究員及び外国人留学生を除く)。奨学金の種類には、第一種(無利子)と第二種(有利子)があります。

<返還免除制度>

日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた者であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または一部の返還が免除される制度があります。また、博士後期課程入学時に、貸与終了時に決定する返還免除制度の候補者として内定される制度があります。

(2) フェロシッププログラム

本学では、我が国の産業の技術革新・産業力強化に貢献する博士人材を育成することを目的とし、博士後期課程学生を対象としたフェロシッププログラムを実施しています。選考に基づき採用された場合、月額15万円の生活費相当額と年間60万円～70万円の研究費が支給されます（日本学術振興会特別研究員、国費外国人留学生及び安定的な収入がある者を除く）。詳細は下記HPをご確認ください。

https://www.kit.ac.jp/fellowship_doctoralcourse/

(3) 国立大学法人京都工芸繊維大学基金奨学金

本学独自の奨学金制度です。願い出により選考のうえ、奨学金の給付を受けることができます。

(4) 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。願い出により選考のうえ、奨学金の貸与または給付を受けることができます。

※各制度は変更される場合がありますので、最新の情報はホームページでご確認ください。

https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/scholarship/

17 大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例による教育

社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間または時期において授業または研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されていますので、本研究科においてはこの制度を活用し、社会人学生に対してはこの教育方法の特例による教育を実施することがあります。この制度の活用を希望する出願予定者は、出願前に希望指導教員に連絡をとり、相談してください。

18 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人京都工芸繊維大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供や研究者・学生の受け入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当するおそれのある場合は、本学から経済産業省への許可申請が必要となり、すぐに教育研究活動ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経済産業省が不許可とした場合は、希望する教育研究内容の変更を求められる場合や、結果的に本学での教育研究活動ができない場合があります。

【参考】経済産業省 URL：<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

本件に関する本学問い合わせ先 研究推進・産学連携課 ken-apply@jim.kit.ac.jp

1 募集人員 Number of Students to be Admitted

学 域 Academic Field	専 攻 Doctoral Programs	募 集 人 員 Number of Students to be Admitted	
		2025 年 4 月 入 学 April Admissions for 2025	2024 年 秋 入 学 Fall Admissions for 2024
応用生物学域 Academic Field of Applied Biology	バイオテクノロジー専攻 Doctoral Program of Biotechnology	若 干 名 Limited number	若 干 名 Limited number
物質・材料科学域 Academic Field of Materials Science	物質・材料化学専攻 Doctoral Program of Materials Chemistry	若 干 名 Limited number	若 干 名 Limited number
設計工学域 Academic Field of Engineering Design	電子システム工学専攻 Doctoral Program of Electronics	若 干 名 Limited number	若 干 名 Limited number
	設計工学専攻 Doctoral Program of Engineering Design	若 干 名 Limited number	若 干 名 Limited number
デザイン科学域 Academic Field of Design	デザイン学専攻 Doctoral Program of Design	若 干 名 Limited number	若 干 名 Limited number
	建築学専攻 Doctoral Program of Architecture	若 干 名 Limited number	若 干 名 Limited number
繊維学域 Academic Field of Fiber Science and Engineering	先端ファイブロ科学専攻 Doctoral Program of Advanced Fibro-Science	若 干 名 Limited number	若 干 名 Limited number
	バイオベースマテリアル学専攻 Doctoral Program of Biobased Materials Science	若 干 名 Limited number	若 干 名 Limited number

《注》入試の結果によっては、合格者がいない場合があります。

Note: The success of applicants depends on examination results. There may be no successful applicants.

2 出願資格 Eligibility

日本国籍を有しない人で、修学に必要な程度の日本語の能力を有し、次の各号のいずれかに該当する人としてします。

Non-Japanese whose Japanese language proficiency will enable them to cope with Japanese coursework and are described by at least one of the following are eligible to apply.

- (1) 修士の学位または専門職学位（学校教育法第 104 条第 3 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する人及び 2025 年（令和 7 年）3 月（秋入学の場合は 2024 年（令和 6 年）9 月）までに授与される見込みの人

Those who have received a master's degree and/or professional degree(as per Article 5, 2) or are expected to receive one by March 2025 (September 2024 for fall admissions) in conformance to Article 104, Section3 of the School Education Law (Act No. 9 of 1953).

- (2) 外国の大学において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び 2025 年（令和 7 年）3 月（秋入学の場合は 2024 年（令和 6 年）9 月）までに授与される見込みの人

Those who have received at an overseas university a master's degree and/or professional degree or equivalent or are expected to receive one by March 2025 (September 2024 for fall admissions).

- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び 2025 年（令和 7 年）3 月（秋入学の場合は 2024 年（令和 6 年）9 月）までに授与される見込みの人

Those who have completed class subjects in Japan through distance learning programs conducted by overseas schools, receiving degrees equivalent to a master's degree and/or professional degree or those who are expected to complete one by March 2025 (September 2024 for fall admissions).

- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び2025年（令和7年）3月（秋入学の場合は2024年（令和6年）9月）までに授与される見込みの人

Those who have completed or are expected to complete courses and earned degrees equivalent to a master's degree and/or professional degree by March 2025 (September 2024 for fall admissions) at educational institutions abroad that are regarded in Japan to have graduate school courses in the educational system of their countries and courses specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT).

- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された人及び2025年（令和7年）3月（秋入学の場合は2024年（令和6年）9月）までに授与される見込みの人

Those who have completed a course at the United Nations University, established in accordance with the resolution of the United Nations General Assembly on December 11, 1972, as stipulated in Article 1, Paragraph 2 of the Act on Special Measures in Connection with the Implementation of the Agreement between the United Nations and Japan Concerning the Headquarters of the United Nations University (Act No. 72 of 1976) and have been awarded a degree equivalent to a master's degree, and those who are expected to be awarded a master's degree by March 2025 (September 2024 for fall admissions).

- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた人《注 参照》

Those who have taken an educational course at an overseas school, an educational facility designated under item 4, or the United Nations University, passed an examination or examination equivalent to those specified in Article 16-2 of the Graduate School Establishment Standards (Ordinance of the Ministry of Education, Science and Culture No. 28, 1974), and have been recognized as having academic ability equivalent to or higher than a person with a master's degree. (See notes for details.)

- (7) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第118号）《注 参照》

Those designated by the MEXT Minister (under Public Notice of Ministry of Education No. 118). (See notes for details.)

※ 文部科学大臣の指定した人とは、次のいずれかに該当する人です。

Persons designated by the MEXT Minister are those who conform to at least one of the following.

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人

Those who have graduated from a university and have engaged in research for more than two years at a university or research institute, and who also are acknowledged by the KIT Graduate School, from his/her/their research achievements, to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a person with a master's degree.

- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人

Those, after having completed the entire 16-year school curriculum overseas, or having completed the curriculum that correlates to the 16-year of educational system in that country through distance learning in Japan, who have engaged in research for more than two years at a university or research institute, and who also are acknowledged by the KIT Graduate School, from his/her/their research achievements, to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a person with master's degree.

- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人で、2025年（令和7年）3月（秋入学の場合は2024年（令和6年）9月）までに24歳に達する人《注 参照》

Those who are acknowledged by the KIT Graduate School to have achieved an academic level equivalent to or superior to that of a person with a master's degree or professional degree, as proven by individual screening for entrance eligibility and will be at least 24 years of age by March 2025 (September 2024 for fall admissions). (See notes for details.)

《注》(6)、(7)もしくは(8)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『4 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続きを行ってください。

Note 1: For those applying under items (6), (7) or (8) above, eligibility screening will be undertaken to verify eligibility prior to admission application; therefore, follow the “4 Eligibility Screening” section below, to complete the form for screening.

* 本特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず指導を希望する教員と連絡を取り、研究希望・内容及び出願資格等について確認してください。教員一覧（研究内容等）は、本学のホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php）に掲載しています。

Applicants must contact a prospective supervisor of the target program prior to applying, in order to confirm their eligibility and specific research plan. For a list of academic staff and research content, refer to the KIT admission information webpage (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php).

* 出願資格について不明な人は、2024年（令和6年）9月上旬（秋入学の場合は2024年（令和6年）5月上旬）までに入試課大学院入試係において確認してください。

Anyone unclear about his/her/their admission eligibility should contact the Graduate Admissions Office by early September 2024 (early May 2024 for fall admissions).

3 在留資格 Status of residence

入学時までには次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。

Incoming students must have one of the following residence statuses at the time of enrollment.

ア. 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）別表第1に定める「留学」

“Student” as prescribed in Annex No. 1 of Immigration Control and Refugee Recognition Act (Cabinet Order No. 319 of 1951)

イ. 上記の「留学」以外の在留資格で、「留学」に変更することが可能な在留資格または変更を要しない在留資格

A residence status other than “Student” that can be changed to a “Student” status or a residence status that does not require changing

4 出願資格認定審査 Eligibility Screening

(1) 『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに、申請書類の提出が必要となりますので、入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

Those wishing to apply under the items (6), (7) or (8) in “2 Eligibility” above must submit the application forms by the following Eligibility Screening Application Deadline. Contact the Graduate Admissions Office for more information.

入試区分 Exam classification	出願資格認定審査申請期限 Eligibility Screening Application Deadline	出願資格認定審査結果通知 Eligibility Screening Application Results Notification
4月入学 April Admissions	2024年（令和6年）10月2日（水）16時まで 4:00 pm, 2 October 2024 (Wed)	2024年（令和6年）11月1日（金）まで 1 November, 2024 (Fri)
秋入学 Fall Admissions	2024年（令和6年）5月27日（月）16時まで 4:00 pm, 27 May 2024 (Mon)	2024年（令和6年）6月19日（水）まで 19 June, 2024 (Wed)

《注》今年度を実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

Those who have applied for eligibility screening for the entrance examination conducted this year and, as a result of the screening at the graduate school, are found to be eligible for application, do not need to reapply when applying for another exam classification.

However, when applying for an entrance examination that will be conducted after the following year, a new eligibility screening application will be required for that year.

(2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『6 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

Those who are deemed to be eligible though the screening process must follow the procedures in “6 Application Procedures”.

5 出願期間 Admissions Application Period

入試区分 Exam classification	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間 Internet Application Registration Period and Admissions Application Period
4月入学 April Admissions	2024年（令和6年）11月5日（火）から2024年（令和6年）11月12日（火）まで 5 November 2024 (Tue) to 12 November 2024 (Tue)
秋入学 Fall Admissions	2024年（令和6年）6月20日（木）から2024年（令和6年）6月27日（木）まで 20 June 2024 (Thu) to 27 June 2024 (Thu)

上記の期間内に本学のインターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に書類を提出してください。

海外から直接出願しようとする人は、出願期間の1カ月前までに入試課大学院入試係及び希望指導教員に問い合わせてください。教員一覧（研究内容等）は、本学のホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) に掲載しています。

Within the relevant period above, applicants must access KIT's internet application system (<https://www.postanet.jp/info/010050/>), enter their information, complete payment procedures, print out and submit the application documents.

Note that application procedures are not complete until applicants submit documents within the relevant application period.

Anyone applying directly from overseas should contact the office below and consult a prospective supervisor of the target program at least one month prior to the application period. For a list of academic staff and their research content, refer to the KIT admission information webpage (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php).

出願書類提出方法 Document Submission

<p>入試課へ持参して提出する場合 To submit applications/documents to the Admissions Office in person, go to:</p> <p>《入試課》 松ヶ崎キャンパス 3号館 1階 《Admissions Office》 1st floor, Building No. 3, Matsugasaki Campus</p>	<p>Be aware that:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土曜日・日曜日・祝日は受付しておりません。 The office is closed on Saturdays, Sundays and national holidays. ○受付時間は 9時から 12時まで及び 13時から 16時までです。 Applications are accepted between 9:00 am and 12:00 pm and between 1:00 pm and 4:00 pm.
<p>郵送で提出する場合 To submit applications/documents by post, address them to:</p> <p>《郵送先》 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係 Mailing address: Kyoto Institute of Technology Admissions Office, Graduate Admissions 1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 JAPAN</p>	<p>Be aware that:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。 Application envelopes must be postmarked (in Japan) no later than the final day of the respective application period. ○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角2封筒に貼り付けて必要書類を封入してください。 After filling in the required items and completing the application fee payment procedure online using the Internet application system, download the address label (for sending the application package to the university) and attach it to a commercially available A4-sized envelope, enclosing the required documents without folding them.

6 出願手続 Application Procedures

出願に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れ、誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続終了後、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

すべての出願書類の右上に入学願書印刷時に付番される「受験番号」を記載してから提出してください。

Carefully read the entrance requirements when applying. Avoid omissions and mistakes.

Applicants must have the admission ticket that they print from the internet application system on the examination day.

Before submission, be sure to write your “examination number” in the top right corner of all application forms.

The “examination number” is the one assigned to you at the time you printed your application form.

■希望指導教員への研究内容等の相談について

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ「教員一覧」をご覧ください。

(https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。なお、研究室の希望状況は入試の可否には一切関係ありません。

Prospective Supervisor Research Content Consultations

For optimal research content alignment between researchers and supervising professors, we require that prior to applying, you contact your prospective supervisor(s), to confirm the compatibility of your research with his/her/their area of expertise. The contact information for each professor can be found in the List of Academic Staff and Research Content section of the latest graduate school admissions page at https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php. See FAQ Q1 instructions on page 43

If you apply to the program without first discussing the research you intend to pursue with your supervising professor, you may find you are assigned to the laboratory of a different prospective supervising professor. Note that your research laboratory preference will not affect your KIT admissions decision.

〔出願書類〕 Application Documents

(1) 入学願書 Admission application form:

インターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『7 検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。

Applicants must register the necessary items and upload their ID photo to the internet application system (<https://www.postanet.jp/info/010050/>). Applicants must complete payment procedures (refer to “7 Application Fee Payment”), print out the admission application form and submit it.

(2) 学業成績証明書 Official academic transcripts:

出身大学または在籍大学の学長または学部長（研究科長）が作成した大学院の学業成績証明書を提出してください。《注1》

Official academic master’s program transcripts approved by the president or dean (research head) of the college or university previously or currently attended. ^{Note 1}

(3) 修士（専門職学位）課程修了（見込）証明書

Master’s program (professional degree) completion certificate or certificate of expected completion of a master’s program (professional degree):

出身大学の修士（専門職学位）課程修了証明書。ただし、2025年（令和7年）3月（秋入学の場合は2024年（令和6年）9月）修了見込みの人は、修士（専門職学位）課程修了見込証明書とします。《注2》

Master’s program (professional degree) completion certificate or certificate of expected completion of a master’s program (professional degree) for applicants expected to complete a master’s program in March 2025 (September 2024 for fall admissions). ^{Note 2}

(4) 修士論文の概要またはこれに相当するもの Summary of the Master’s thesis or equivalent:

修士論文の概要またはこれに相当するものを提出してください。ただし修士課程修了見込みの人は、修士論

文の研究題目あるいは修士課程における特定の課題とその研究の進捗状況について要約した研究経過報告書を提出してください。また、他に研究発表等の参考資料があれば添付してください。《注3》

Submit a summary of your Master's thesis or equivalent. However, those expected to complete a master's program must submit the master's thesis title or a research progress report that summarizes the specific theme of their master's research and its progress. Attach any reference materials, such as research publications, that accompanied research presentations and the like. ^{Note 3}

(5) 研究計画書 Research proposal:

本学のホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html) より様式をダウンロードし、希望指導教員と相談のうえ提出してください。

Consult your prospective supervisor (the KIT professor of the lab you propose to join) and submit your proposal. A research proposal form can be downloaded from the KIT admission information webpage (https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html).

(6) その他 Other:

ア. 現在、他の大学院（博士後期課程）に在学中の人は、当該大学院の受験許可書

Those currently enrolled in a doctoral program at another university must submit evidence that they have permission from the university in question to take the KIT entrance exam (*kyuken kyoka sho*).

イ. 在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。

Present your residence card so that we can confirm your residence status.

ウ. 授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください（40 ページ参照）。

International students wishing to apply for tuition fee exemption should also submit the tuition fee exemption application (see page 40).

《注1》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の学業成績証明書とし、学長または学部長もしくは学校長が作成したものとします。

Note 1 The official academic transcripts of those applying under items (6), (7) or (8) in "2 Eligibility", must be approved by the president, dean, or school principal of the last attended university/school.

《注2》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の卒業証明書とします。

Note 2 For those applying under items (6), (7) or (8) in "2 Eligibility," graduation certificates of the last attended university/school must be submitted.

《注3》『2 出願資格(6)、(7)もしくは(8)』の資格で出願する場合は、提出は不要です。

Note 3 For those applying under items (6), (7) or (8) in "2 Eligibility", the submission of this document is unnecessary.

※ 一部の出願書類については本学ホームページの入試情報 (https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html) よりダウンロードできます。

Some admission application forms can be downloaded from the KIT admission information webpage (https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_yoko.html).

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求められることがあります。

KIT may request additional documents when necessary.

※前掲出願書類の提出については、証明書類のコピーは受理できません。

The aforementioned documents must be originals. Certificate copies are unacceptable.

※出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続のみに使用します。

Any personal information provided in the application documents will, after application, only be used for contact purposes, eligibility confirmation, admission selection, statistical surveys, and notification of acceptance and admission formalities.

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

Academic records will only be used for admission selection, management and analysis of academic records to compile, statistical data, investigation on entrance examination results, screening of the persons applying for registration fee and/or tuition waiver and for scholarship applicant screening.

7 検定料の支払 Application Fee Payment

30,000円 30,000 JPY

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が不要または免除されることがあるため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

Applicants may select to transfer payment from among the following: a convenience store, a financial institution ATM (Pay-easy), or using a credit card. Follow the internet application system instructions and complete payment procedures by the deadline. Note that transfer fees must be paid by the applicant.

However, applicants who fall under one of the categories in the table below, **may be exempt from paying, or not be required to pay** the application fee. Contact the Graduate Admissions Office before applying if this applies to you.

対象者 Eligible persons	条件 Conditions	必要書類等 Required documentation	検定料 Application fee
本研究科博士前期課程 修了見込み者 Persons completing the master's program of KIT's Graduate School Science and Technology	4月入学の場合は 令和7年3月修了見込み 秋入学の場合は 令和6年9月修了見込み Expected completion of studies in March 2025 for spring admissions and September 2024 for fall admissions	修了見込証明書 Certificate of expected completion	不要 Not required
国費外国人留学生 Japanese Government (MEXT) Scholarship students	奨学金支給期間延長の 申請予定者 Students intending to apply for an extension of government funding	国費外国人留学生であること を証明する書類 Documents proving that the student is a Japanese Government (MEXT) Scholarship student	不要 Not required
大規模な風水害等により 被害を受けた人 Persons affected by a large-scale disaster	風水害等の発生が 出願期間前の概ね1年以内 Large-scale disaster must have occurred within 1 year before the application period	別途指示します Individual advice will be provided	全額免除の 場合あり Full exemption may apply

8 障害等のある人との事前相談について Preliminary Consultations for Applicants with Special Needs

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

Exam and other special needs accommodations should be requested prior to submitting an application.

In addition, the following procedures are required when consultation is necessary. In cases where such arrangements are needed, contact the Graduate Admissions Office as soon as possible, even after the admission application documents have been submitted, regardless of the consultation deadline.

① 相談の時期

原則として、出願期間の1週間前までに申し出てください。

Consultation period

As a general rule, applicants must initiate special needs consultation at least one week prior to the admission application period.

② 相談の方法

相談書類（健康診断書などの必要書類）を提出してください。必要な場合は、本学において志願者の事情

を説明できる人との面談等を行います。

Consultation method

Submit consultation documents (such as medical examination reports). KIT will interview someone who can explain the circumstances of the applicant when deemed necessary.

9 出願についての注意事項 Cautions regarding the application

- (1) 次の場合には、出願書類を受理しません。

Applications such as the following be rejected.

- ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

The application process has not been completed using the internet application system.

- ② 出願書類がそろっていない場合

There are missing application forms/documents.

- ③ 出願書類の記載が不完全な場合

Some application forms/documents contain omissions.

- ④ 検定料が支払われていない場合

The application fee has not been paid.

- (2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

No changes in the application forms/documents will be permitted after submission.

- (3) 出願書類は、原則返還しません。また、支払い済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

Application forms and documentation will not be returned under any circumstances.

Application fees can only be returned in the following situations.

- ① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合

The applicant paid the application fee, but did not submit the application forms/documents, or KIT did not receive the application/documents.

- ② 検定料を誤って二重に支払った場合

The applicant accidentally paid the application fee twice.

* 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

In the event of the above, contact the Graduate Admissions Office for information on requesting an application fee refund.

- (4) 出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることもあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

False statements or forgeries identified in the application documents may be deemed fraudulent and potentially lead to their invalidation. Moreover, if such fraudulent behavior is uncovered after admission, it could result in the retroactive cancellation of acceptance and enrollment, even after an applicant has successfully passed the examination.

10 選抜方法 Selection Method

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

Selection is based on entrance exam results and a careful review of application documents.

渡日前入試：受験時において海外在住の人については、希望により オンラインミーティングシステム（Cisco Webex Meetings、Skype 等）を用いて口述試験を行うことがあります。

Examination from overseas: For those residing abroad at the time of the examination, oral examinations may be held using an online meeting system (Cisco Webex Meetings, Skype etc.), upon request.

11 アドミッションポリシー Admission Policy

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

All programs provide the relevant specialized education and research required to develop human resources with the qualities described below. Each program seeks students possessing the abilities and aptitudes required to complete their specialized education and to carry out research.

バイオテクノロジー専攻 Doctoral Program of Biotechnology

人材育成の目標 Aims and Purposes

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。

We foster global engineers and researchers who possess advanced knowledge, skills, and deployment capabilities in biotechnology and can contribute to the realization of a safe, contented, and sustainable society by contributing to solutions to current issues and by giving back to society.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

英語能力、研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using an oral examination on academic ability in the applicant's area of speciality, his/her/their master's thesis and research proposal, and an evaluation of his/her/their English-language skills.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

ライフサイエンスに関する特に優れた知識を有し、実験科学に関する豊かな創造性、英文の読解や表現に優れた人を求めます。

Successful applicants must have an excellent grounding in life science, an exceptionally creative approach to scientific experimentation, and excellent skills in English comprehension and expression.

物質・材料化学専攻 Doctoral Program of Materials Chemistry

人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、物質・材料化学の諸領域における教育研究を通じて、次代を担う革新的な物質・材料開発研究において基礎及び応用の両面で先導的な役割を果たすことができ、実践的の外国語能力や国際経験をもって国際舞台で活躍できる、創造性豊かな優れた人材の育成を目指します。

Through education and research in the field of materials chemistry, the Department of Materials Science fosters highly creative individuals with practical foreign language skills and international experience who can play a leading role in both fundamental and applied research into the development of innovative materials for the next generation.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

英語能力、研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験により、求める能力・適性を判定します。

The applicant's aptitude will be assessed through an oral examination which covers English-language skill, specialized academic ability in his/her/their research field, his/her/their master's thesis and research proposal.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

物質・材料化学における開発研究への強い興味と意欲、創造的研究を遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力、問題解決能力および優れた国際感覚

Successful applicants must have a strong interest in, and desire to conduct research on developments in materials chemistry, as well as possessing the underlying knowledge necessary to design and pursue creative research. We expect prospective students to demonstrate good English comprehension and problem-solving skills.

電子システム工学専攻 Doctoral Program of Electronics

人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、深い専門的知識を有し、研究開発のアプローチに精通している国際性豊かな研究者の養成を目的としています。特に、フォトニクス、パワーエレクトロニクス、電子デバイス、集積回路、電子材料、波動工学、そして、プラズマ科学の重点研究分野で活躍できる人材、俯瞰的視野に立って問題発見能力を有する人材、さらに、その問題解決が社会に提供する価値を最大化する方向に向けて知の構造化、再構成をはかる能力を有する人材、異分野と

の境界領域を開拓できる人材を育成します。

This department nurtures internationally-minded researchers who develop deep expertise and are familiar with available research and development approaches. In particular, we train researchers to play an active role in the priority research fields of photonics, power electronics, electronic devices, integrated circuits, electronic materials, wave engineering, and plasma science. The program fosters human resources with the ability to identify problems from a big-picture perspective, to structure and reconstruct knowledge in a way that maximizes the value provided to society through the solution of those problems, and to develop the areas where academic fields merge.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

英語能力、研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験により、求める能力・適性を判定します。

The applicant's aptitude will be assessed through an oral examination which covers English-language skill, specialized academic ability in his/her/their research field, his/her/their master's thesis and research plan.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

修学及び研究活動に必要な英語力並びに専門基礎学力を求めます。

Successful applicants must have English proficiency necessary for their learning and research activities, and basic academic skills in their areas of specialty.

設計工学専攻 Doctoral Program of Engineering Design

人材育成の目標 Aims and Purposes

現代社会の産業技術をリードできる学識と実践技術を身につけた工学者の育成を目標としています。工学技術の先端研究を切り開くための精神力、国際的な社会動向への鋭い感性と地域貢献の視点を持ち、個人的能力に加えて、組織を管理運営できるリーダーシップを持ち、国際的に活躍できる人材を育成しています。

専攻で対象とする「もの」すなわち人工物は、人間の身の回りの日用品や製品から、情報システム、機械システム、それらの複合体である高機能で複雑な社会システムまで多岐にわたります。各人の専門分野での探求対象である人工物について、複数の仕組みや方式を選択肢として列挙・比較・開発・評価する総合的・実地的な設計工学(engineering design)技能を体得します。

Our goal is to foster engineers with the academic knowledge and practical skills to lead industrial technology in modern society. The department fosters individuals who in addition to maintaining a strong sense of self, have the intellectual ability to pioneer advanced research in engineering technology, a keen sensitivity to international social trends, a perspective on contributing to the community, and the leadership skills to manage and operate organizations. Graduates from this program take active international roles.

The artificial "things," produced in this major range from familiar daily necessities to information systems, mechanical systems, and complex, highly functional social systems that are composites of these. Students acquire options such as comprehensive and practical engineering design skills enabling them to enumerate, compare, develop, and evaluate the multiple systems and methods they explore in their specialization.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

英語能力、研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験により、求める能力・適性を判定します。

Applicant aptitudes will be assessed through an oral examination which covers English-language skill, specialized academic ability in his/her/their research field, his/her/their master's thesis and research plan.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

個別工学分野の高度の専門性を習得するための基礎学力、ものづくりの創造的な展開に対する意欲と実行力、グローバルに活動を展開するための言語運用能力等を選抜の基準とします。

Successful applicants must have the basic academic skills necessary to acquire advanced specialization in individual engineering fields, demonstrate both a passion for and proficiency in fostering the creative evolution of manufacturing processes, and the language proficiency necessary to act globally.

デザイン学専攻 Doctoral Program of Design

人材育成の目標 Aims and Purposes

デザイン学領域では、様々な社会的課題に適用可能な独自のデザイン理論・方法論を持ち、異分野の専門家との混合チームをディレクターとして主導することができる能力を身に付け、また、キュレーション学領域では、美術、デザイン、建築についての深い洞察にもとづくオリジナリティのある研究論文が作成できるとともに、その成果を「企

画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」といったかたちで社会に示す高い「キュレーション」能力を身につけた人材の育成を目指しています。

In this design program, we guide individuals in writing original research papers based on deep insights into art, design, and architectural design. In our curatorial studies specialization, we nurture human resources who can achieve this and additionally, master advanced curatorial skills: planning, editing, directing, exhibiting, and publicizing exhibitions. Graduates will be able to effectively present discoveries to the public.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

英語能力、研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験により、求める能力・適性を判定します。

Applicant's aptitudes will be assessed through an oral examination which covers English-language skill, specialized academic ability in his/her/their research field, his/her/their master's thesis and research proposal.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

デザインに関する応用的・横断的知識と制作経験を持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、深いデザインとその周辺知識に加え創造的なデザイン方法論を研究・実践していく意欲ある人を求めます。また、知識習得並びに理論的研究のみならず、美術館・博物館での展示等の社会的実践に繋げていく意欲のある人を求めます。

To be successful, applicants must have applied/cross-disciplinary knowledge of design and production experience, flexible and original ideas, in-depth knowledge of design and related fields, and a desire to study and implement creative design methodologies and outputs. They should also have the desire not only to acquire knowledge and study theory, but also to connect this to social practice through exhibitions at art galleries, museums and other venues.

建築学専攻 Doctoral Program of Architecture

人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、都市・建築のデザイン、遺産のストック活用とマネジメント、都市・建築の技術、環境、歴史、文化に関する理論及び応用力を身に付け、都市・建築に関する研究者として自立的に活動できる能力、あるいは都市・建築設計、再生マネジメント等に関する高度な専門業務に従事できる能力を有し、研究成果を広く学界や社会、さらに国際社会に発信していく積極性と説明能力、研究や専門業務を遂行する上での協調性を獲得し、今後も自ら発見した課題を専門分野や関連分野への視野を拡大させつつ展開させ、学術論文に作り上げていく能力を有した人材の育成を目指しています。

In this major, students acquire theoretical and applied skills in urban and architectural design, heritage stock utilization and management, urban and architectural technology, environment, history, and culture. They gain the ability to work independently as researchers in the field of urban and architectural design, or to engage in highly specialized work related to urban and architectural design and regeneration management. The program nurtures human resources who can work independently as researchers in the field of urbanism and architecture, or can engage in highly specialized work related to urbanism, architectural design, and regeneration management, etc. who have the ability to disseminate their research findings to the academic community, the general public, and the international community. Students should have a positive attitude and the ability to explain their findings, and to cooperate in conducting research and specialized work. We nurture human resources who can develop their discoveries into academic papers.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

英語能力、研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験により、求める能力・適性を判定します。

The applicant's aptitude will be assessed through an oral examination which covers English-language skill, specialized academic ability in his/her/their research field, his/her/their master's thesis, and research proposal.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者になるための素養を持ち、なおかつ、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を理解し、地球規模で考えながら、幅広い建築学の能力を磨く強い意志を持っている人を求めます。

Successful applicants have the knowledge necessary to become both internationally competitive urban/architecture design professionals with advanced expertise, and independent researchers with a high level of specialization who understand the value of studying urbanology and architecture in Kyoto. They must think globally and be strongly driven to hone a wide range of competencies in architecture.

先端ファイブロ科学専攻 Doctoral Program of Advanced Fibro-Science

人材育成の目標 Aims and Purposes

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを基礎とする「人と環境に優しいものづくり」に関わる教育研究活動を通して、自らの力で研究開発目標を設定し、それを具現化するための技術課題を見出し、さらには解決することができる総合的に優れた国際的に通用する人材を育成することを目標としています。

Through education and research activities related to "human- and environmentally-friendly manufacturing" based on textile science and engineering, our goal is to develop internationally competent human resources with excellent comprehensive abilities. Graduates of this program can independently determine and accomplish their research and development targets, identify technical problems and barriers, and reach solutions.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

英語能力、研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験により、求める能力・適性を判定します。研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

The applicant's aptitude will be assessed through an oral examination which covers English-language skill, specialized academic ability in his/her/their research field, his/her/their master's thesis, and a research proposal. Passion and perseverance in consistently thinking and acting for themselves, so that their research findings can benefit people in today's world, are highly desirable.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

Successful applicants must have fundamental academic abilities in the natural sciences, a profound sensibility that prompts them to seek broader knowledge without confining themselves to their own research, the ability to identify, resolve, and logically explain problems, and the passion and perseverance to always think and act for themselves so that their research findings can benefit people in today's world.

バイオベースマテリアル学専攻 Doctoral Program of Biobased Materials Science

人材育成の目標 Aims and Purposes

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術を横断的に理解して自らリーダーシップを発揮し、国際的に行動を起こせる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析および成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解し幅広い分野で応用ができる人材を育成します。

The Department of Biobased Materials fosters human resources who are determined to solve the global environmental problems facing humanity, and realize an ideal global future. Our graduates can exercise leadership and take action on an international scale based on a cross-sectional understanding of today's highly differentiated and specialized science and technology. To achieve this goal, it is essential to develop raw materials from plant biomass, synthesize polymer materials using such materials, analyze the physical properties and microstructures of polymer materials, and conduct research and development into biobased materials, in such areas as molding and processing.

選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。英語能力、研究分野に関する専門的学力、修士論文及び研究計画等に関して行う口述試験により、求める能力・適性を判定します。

We are looking for applicants who will acquire knowledge and play an active role in research regarding biobased materials to realize a society supported by and reliant on these materials. The required aptitudes will be assessed through an oral examination on academic abilities in the applicant's research field, the applicant's master's thesis and research proposal, and his/her/their English language skills.

求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために持続可能な社会を実現する必要性を理解し、有機化学、物理化学、生化学、高分子化学、材料科学の内の少なくとも一つに十分な知識を有し、かつ他分野の知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。

Successful applicants are those who understand the need to realize a sustainable society in order for humans to continue to thrive in the future. They are also those who aim to realize this through ample knowledge of at least one field from among organic chemistry, physical chemistry, biochemistry, macromolecular chemistry, and materials science. Applicants must desire to acquire knowledge in other fields and to conduct research on biobased materials.

12 学力検査日時、検査方法及び場所等 Examination Type, Date and Location

(1) 学力検査日 Examination subjects and schedule

4月入学：2024年（令和6年）12月7日（土）

April admissions examination held: 7 Dec. 2024 (Sat)

秋入学：2024年（令和6年）8月22日（木）

Fall admissions examination held: 22 Aug. 2024 (Thu)

(2) 検査方法 Examination Method

専攻 Doctoral Program	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
先端ファイブ科学専攻 Doctoral Program of Advanced Fibro-Science	口述試験	13：00～ (海外在住で渡日前の口述試験を希望する場合は、時間を調整のうえ、オンラインミーティングシステム (Cisco Webex Meetings、Skype 等) を利用して行う) Those who reside abroad may, upon request, have an oral examination using an online meeting system (Cisco Webex Meetings, Skype etc.), at a time agreed upon in advance.	300	英語能力及び研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。 Interviews on specialized knowledge, master's thesis, research progress report, research proposals concerning subjects related to the field of study.
上記を除く専攻 All other programs	口述試験	13：30～ (海外在住で渡日前の口述試験を希望する場合は、時間を調整のうえ、オンラインミーティングシステム (Cisco Webex Meetings、Skype 等) を利用して行う) Those who reside abroad may, upon request, have an oral examination using an online meeting system (Cisco Webex Meetings, Skype etc.), at a time agreed upon in advance.		

(3) 試験場 Examination Site:

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地）

試験室等は、次の日までに本学のホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)

及び入試課前掲示板に掲示します。

4月入学：2024年（令和6年）12月6日（金）

秋入学：2024年（令和6年）8月21日（水）

KIT Matsugasaki Campus (1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto, Japan)

Examination rooms will be posted on the KIT Admissions Office bulletin board and on the KIT admission information webpage (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) by the following dates.

April admissions: 6 Dec 2024 (Fri).

Fall admissions: 21 Aug 2024 (Wed).

(4) 受験についての注意 Examination Precautions

共通の注意事項 Common Precautions for All Students

1) 持参物 What to bring

試験には、次の物を持参してください。Bring the following items to the examination

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票
Examination ticket printed from the internet application system
- ② 筆記用具 (HB 程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム)
Writing utensils (HB type pencil or mechanical pencil, plastic eraser)
- ③ 時計 (携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。)
Clock (Note: mobile phones or devices with functions other than a timer, may not be used as clocks)

※試験中机の上に置けるもの

受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り (電動式、大型のもの、ナイフは不可)、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー (中身のみ袋から取り出したもの)、目薬、マスク

※Items Allowed on the Desk During the Exam:

Admission ticket, graphite pencil, mechanical pencil, eraser, pencil cap, pencil sharpener (electric and large-sized sharpeners, and knives are not allowed), watch, eyeglasses, handkerchief, tissue paper (without its case/box), eye drops, mask.

2) 受験上の留意事項 Notes on the examination

- ① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。
Examinees must present their examination tickets that they have printed from the internet application system on the examination day must follow the supervisor's directions.
Examinees without their examination tickets may not be allowed to take the examination. If you have lost or failed to bring your examination ticket, inform the Admissions Office.
- ② 試験当日は試験開始 20 分前までに試験場に到着し、各科目の試験開始 15 分前までに所定の試験室または口述試験控室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
On the day of the examination, examinees should arrive at the examination site 20 minutes before the examination starts, enter the designated examination room or the oral examination waiting room 15 minutes before the start of each specific examination subject and be seated at the desk with your examinee number.
- ③ 試験開始後、20 分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。
Examinees who arrive at the examination room 20 minutes or later after the scheduled starting time, will not be allowed to take the examination.
- ④ 指定の科目等を 1 科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
Examinees who do not take ALL of the designated subjects are disqualified and will not be permitted to take the examination again at a later date.
- ⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。
Examinees who act, or are deemed to have acted, dishonestly or who do not comply with the instructions of the examination proctors, will be commanded to immediately stop taking the examination and their results invalidated. Moreover, if such fraudulent behavior is uncovered after admission, it could result in the retroactive cancellation of acceptance and enrollment, even after an applicant has successfully passed the examination.
- ⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。
Examinees who are physically unable to take the examination in the designated examination room should consult the Admissions Office in advance.
- ⑦ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認

めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度 20 分を超過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。

If you become ill during the examination and cannot continue, inform the examination proctor of your condition and follow his/her/their instructions. You may come back to the examination room if you feel better after resting at the KIT clinic.

Note that no extension of the examination time will be allowed. In addition, if you are more than 20 minutes late for the next examination subject, you will not be allowed to take the next examination.

- ⑧ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。

The examination will not be repeated and time will not be extended, even in the event that a sound such as an alarm from a mobile phone, other electronic devices or wristwatch occurs during testing.

3) 禁止事項 Don'ts

- ① 試験中は、受験票と上記「1) 持参物」中の※で記載したもの、並びに試験監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。

Examinees must not place anything on the desks, except for their examination tickets, the items in (1) ※ above and/or other items mentioned by the examination supervisor.

- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。

Clocks with functions other than a timer and writing implements with calculation functions etc. are not allowed on the examination desk.

- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中に入れておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。

All mobile phones and devices that emit sound should be turned off and placed inside your bag before you enter the examination room. Mobile phones are not allowed to be used as clocks. If your clock has an alarm function it must be turned off so that it does not ring.

- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

Examinees must not wear clothing on which numerical formulas and/or any other symbols are printed. If such clothing is discovered, the examinee concerned may be asked to wear the clothing inside out. Zabuton (sitting cushions) and lap robes are allowed provided they too have no printed numerical formulas and/or any other symbols.

- ⑤ 試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。

Eating and drinking (including gum and candy) inside the examination room is not allowed from the time you enter the room until the time you exit (excluding break time).

- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、試験当日に各専攻から貸与される物品がある場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書・電子手帳など）は使用できません。

The use of mobile phones and other electronic devices (audio players, computers, game devices, electronic dictionaries, electronic notebooks etc.) is not allowed from the beginning of the examination until the time you leave the examination room (excluding break time). Exception: the use of items provided by each major on the day of the examination.

- ⑦ 各建物のエレベーターの使用を禁止します。

The use of elevators is prohibited in all buildings.

4) その他 Other

- ① 試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせします。

<https://www.kit.ac.jp/>

If, on the day of the examination, there is a change in the starting time due to delays in transportation etc., we will inform you via the KIT homepage.

<https://www.kit.ac.jp/>

- ② その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

If you have any other questions regarding the examination, contact the Admissions Office.

13 合格発表 Announcement of Successful Applicants

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) に発表します。
 なお、合格者には、入学願書に記載された受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

4月入学：2024年（令和6年）12月18日（水）17時（予定）

秋入学：2024年（令和6年）9月4日（水）17時（予定）

The application ID numbers of successful examinees are scheduled to be posted on the KIT admission information webpage (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) on the dates below. Note also that acceptance notifications will be posted to successful examinees at the mailing address they specified in the admission application form.

April admissions: Scheduled for 18 December 2024 (Wed), 5:00 pm

Fall admissions: Scheduled for 4 September 2024 (Wed), 5:00 pm

14 入学手続 Enrollment Procedures

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は、合格通知書に同封します。

4月入学：

入学手続期間 2025年（令和7年）2月13日（木）から2025年（令和7年）2月19日（水）（17時必着）まで

秋入学：

入学手続期間 2024年（令和6年）9月6日（金）から2024年（令和6年）9月12日（木）（17時必着）まで

Successful examinees should complete enrollment procedures on the following dates and times. Note that enrollment documents will be enclosed with your acceptance notification.

April admissions:

Enrollment procedure period: Enrollment forms must arrive at KIT between 13 February 2025 (Thu) and 19 February 2025 (Wed), and no later than 5:00 pm, on the final day.

Fall admissions:

Enrollment procedure period: Enrollment forms must arrive at KIT between 6 September 2024 (Fri) and 12 September 2024 (Thu), and no later than 5:00 pm, on the final day.

15 入学に要する経費 Registration Fees

- (1) 入学料 282,000円

Registration fee: 282,000 JPY

ただし、2025年（令和7年）3月（秋入学の場合は2024年（令和6年）9月）に本研究科博士前期課程を修了し、引き続き2025年（令和7年）4月（秋入学の場合は2024年（令和6年）9月）に本研究科博士後期課程に進学する人は不要です。

Persons completing the master's program for the Graduate School Science and Technology at KIT in March 2025 (September 2024 for fall admissions) and continuing their studies in the relevant doctoral program in April 2025 (September 2024 for fall admissions), are not required to pay the registration fee.

- (2) 授業料 267,900円（半期） 535,800円（年額）

Tuition: 267,900 JPY (bi-annually), 535,800 JPY (annually)

- (3) 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料

3年間の保険料 3,620円（予定）

Personal accident insurance and liability insurance for each student pursuing education and research Insurance fee for 3 years 3,620 JPY (estimated).

- ① 入学料及び授業料の額は、改定される場合があります。

The registration fee and tuition are subject to change.

- ② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

Payments of the registration fee must be made at the time of enrollment. In cases where the registration and tuition fees are revised at the time of enrollment, the new fees will apply. If the tuition fee is revised while students are enrolled at KIT, the new tuition fee will apply from the time of revision.

- ③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後

期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。

Tuition must be paid in two equal payments, one in the first semester and the other in the second semester. The first semester payment must be in April and the second, in October. The amount paid for each semester must be equivalent to half of the annual amount.

- ④ その他、必要に応じて納入する諸経費があります。

Students may be charged for various additional expenses as the need arises.

- ⑤ 納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。

Payment method information will be enclosed with the letter of acceptance.

- ⑥ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

Once paid, the registration fee cannot be returned, for any reason.

- ⑦ 入学手続き時に入学に要する経費を納入した後で、令和7年3月31日(月)17時(秋入学の場合は令和6年9月24日(火)17時)までに入学を辞退した場合は、申し出により入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係〔TEL (075) 724-7133〕にお問い合わせください。

If students withdraw from KIT by 5:00 pm 31 March 2025 (Mon) (5:00 pm 24 September 2024 (Tue) for fall admissions) after having made the related payments at the time of enrollment, the equivalent amount, excluding the registration fee, will be refunded upon request. For refunds, contact the Educational Affairs Office. Phone +81-75-724-7133.

16 入学料・授業料の免除等制度 Registration and tuition fee exemption system

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または一部を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

2025年(令和7年)度前期分(秋入学は2024年(令和6年)度後期分)の授業料免除の申請方法は、外国人留学生(在留資格が「留学」の人、及び本学入学時まで「留学」の在留資格を取得する人)とそれ以外の人とで次のとおり異なります。

詳細は、学生支援・社会連携課経済支援係〔TEL (075) 724-7143 E-mail: shogaku@jim.kit.ac.jp〕へお問い合わせください。

In cases where student finances make registration fee and/or tuition payment difficult and the student is recognized as a high academic achiever, the student may apply to be exempted from paying a part or all of the fee/tuition and/or to receive a fee/tuition payment postponement. Exemption/postponement decisions will be based on the relevant application and screening.

The application processes are different for first semester 2025 (and for the second semester of 2024, for fall admissions) international students (those whose resident status is “student” or those who obtain “student” status by the time of enrollment) and all other students. For more information, inquire at the Student Support and Community Outreach Office, Financial Support. (Phone +81-75-724-7143. E-mail: shogaku@jim.kit.ac.jp)

■ 2025年(令和7年)度前期分(秋入学は2024年(令和6年)度後期分)の授業料免除の申請方法

Application process for 2025 first semester (spring) tuition exemption (or of the second semester of 2024, for fall admissions)

- (1) 外国人留学生(在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人)のうち、下記のいずれかに該当する人

Eligible persons are international students (those whose resident status is “student” or those who obtain a “student” status by the time of enrollment) who fall under either of the following categories

I. 私費外国人留学生

Privately funded international students

- II. 出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人(国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます)

Students who are government funded international students at the time of application, but may become privately funded students when enrolled at KIT (This includes international students applying for, or intending to apply for a government funding extension.)

出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

Applications should be submitted with the other admission application documents. Applications for tuition exemption will not influence examination results in any way.

① 申請期間 Application period

入試の出願期間に、「② 申請書類」を出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。出願期間の詳細は、26 ページの『5 出願期間』を参照してください。

Submit “② Application documents” with the other admission application documents within the application period (for more information on the application period, refer to “5 Admissions Application Period” on page 26). No applications will be accepted after the application period.

② 申請書類 Application documents

・ 授業料免除申請書類一式（本学所定様式）

本学ホームページ (https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/) よりダウンロードしてください。

・ The set of documents for tuition exemption (KIT forms) can be downloaded from the KIT webpage. (https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/) .

③ 選考結果の通知 Notification of Results

合格発表日に申請書へ記載のメールアドレス宛に免除選考結果通知書を送付します。

On the day examination results are announced, approval or denial of your tuition exemption application will be sent to the email address on your application documents.

(2) 上記(1)以外の人 Students other than (1) above

入学手続後に申請を受け付けます（申請受付日は 2025 年（令和 7 年）3 月（秋入学は 2024 年（令和 6 年）9 月）の予定）。

申請方法は、合格通知書に同封する入学手続書類で確認してください。

Examination applications should be submitted after enrollment procedures are completed. Examination applications will be accepted in March 2025. (September 2024 for fall admissions). As for the application process, see the admission guideline documents enclosed with your acceptance notification.

17 奨学金制度 Scholarship system

(1) フェロシッププログラム

本学では、我が国の産業の技術革新・産業力強化に貢献する博士人材を育成することを目的とし、博士後期課程学生を対象としたフェロシッププログラムを実施しています。選考に基づき採用された場合、月額 15 万円の生活費相当額と年間 60 万円～70 万円の研究費が支給されます（日本学術振興会特別研究員、国費外国人留学生及び安定的な収入がある者を除く）。詳細は下記 HP をご確認ください。

https://www.kit.ac.jp/fellowship_doctoralcourse/

Fellowship Program

With the aim of fostering doctoral personnel who will contribute to technological innovation and the strengthening of Japanese industry, KIT is implementing a fellowship program for doctoral students. If you are selected for the program, you will receive a monthly stipend of 150,000 yen (equivalent to living expenses) and an annual stipend of 600,000 to 700,000 yen for research (JSPS Research Fellows, government-sponsored international students, and persons with a stable income are not eligible for this program). Refer to the following website for more information.

https://www.kit.ac.jp/fellowship_doctoralcourse/

(2) 国立大学法人京都工芸繊維大学基金奨学金

本学独自の奨学金制度です。願い出により選考のうえ、奨学金の給付を受けることができます。

Kyoto Institute of Technology Foundation Scholarship

Selected students may receive a scholarship through the Kyoto Institute of Technology Foundation Scholarship, a funding source unique to KIT.

※各制度は変更される場合がありますので、最新の情報はホームページでご確認ください。

Scholarships are subject to change. Be sure to check the website for updates.

https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/scholarship/

18 その他 Other

- (1) 多くの授業は日本語で行われるので、日本語の能力が十分でない人は、日本語の予備教育を受けておくことが望まれます。
Many classes will be conducted in Japanese. Persons not sufficiently proficient in Japanese are advised to study the Japanese language intensively.
- (2) 住まいについて Information on accommodation
- ・留学生等用の宿舎については、本学ホームページをご確認ください。
For information on accommodation for international students, refer to the KIT webpage.
◇京都工芸繊維大学 HP KIT webpage
大学 HP トップ>国際交流>本学留学希望の方>住居
https://www.kit.ac.jp/international_index/prospective_student/
大学 HP トップ>Prospective Students> Housing & Accommodations
<https://www.kit.ac.jp/en/facilities-services/accommodation/>
- (3) 日本政府奨学金による留学（国費外国人留学生）を希望する人は、各国の日本公館にお問い合わせください。
Those wishing to apply for a Japanese government (MEXT) scholarship to study at KIT as a government sponsored foreign student should contact the Japanese diplomatic office in their respective country.

19 安全保障輸出管理 Important Communication about The Security Export Control in Japan

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人京都工芸繊維大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供や研究者・学生の受け入れに際し、厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当するおそれのある場合は、本学から経済産業省への許可申請が必要となり、すぐに教育研究活動ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経済産業省が不許可とした場合は、希望する教育研究内容の変更を求められる場合や、結果的に本学での教育研究活動ができない場合があります。

【参考】経済産業省 URL：<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

本件に関する本学問い合わせ先 研究推進・産学連携課 ken-apply@jim.kit.ac.jp

Security Export Control in Japan is implemented for the purpose of maintaining peace and safety in Japan as well as in the international community based on the FEFTA (Foreign Exchange and Foreign Trade Act) under international export control regimes.

We conduct strict screening before approving technology or accepting researchers/students.

We are obligated to apply to the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) in the event researcher/student acceptance or a technology may infringe on any of the Foreign Exchange and Foreign Trade Law regulations.

For this reason, you may not be able to immediately begin your intended educational and/or research activities.

In addition, if METI fails to approve an application we submit, you may be asked to change the content of your intended education and research, or you may not be able to conduct your education and research activities at KIT as a result.

For more information, please visit following website <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

Research Promotion and Collaboration Office ken-apply@jim.kit.ac.jp

Q : 希望指導教員と連絡を取りたいのですが、連絡先をどこで調べられますか。

A : 大学院入試最新情報 (https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) ページ右上の「教員一覧 (研究内容等)」に、博士前期課程 (修士課程)、博士後期課程で指導を行う各教員の研究テーマと連絡先メールアドレスへのリンクを掲載しています。

Q : I would like to get in touch with a prospective supervisor, where can I find his/her/their contact information?

A : Faculty contact and research topic information is available online at the KIT webpage shown below. Use this information to select and contact a prospective supervising professor to advise your master's or doctoral program study. Access the "Announcements (Master's Program, Doctoral Program)" page:



https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php

and click on "Master's Program" or "Doctoral Program" at the upper right of the page (in the orange box) to see the "List of Academic Staff".

問い合わせ先 Inquiries

○大学院入試全般について **General inquiries on graduate admissions**

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学

1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 Japan Kyoto Institute of Technology

入試課大学院入試係 Admissions Office, Graduate Admissions

TEL : 075-724-7162 Phone : +81-75-724-7162 e-mail: innyushi@kit.ac.jp

◆ 入試課へお問い合わせの際には、受験希望の入試について下記の情報をできるだけ詳細にお知らせください。また、出願後のお問い合わせについては、必ず受験票に記載されている「受験番号」をお知らせ願います。

- 修士課程、博士課程
- 「入試種別」 (推薦、自己推薦、一般、社会人、外国人留学生)
- 「入試区分」 (4月入学 (第I期、第II期、第III期)、秋入学)
- 「志望専攻」

When contacting the Admissions Office, provide as much of the information below as possible, about the entrance examination you wish to take. If you have any questions after you have applied, be sure to provide us with your examinee's number and tell us which of the following apply to you

- * Master's Course or Doctoral Course?
- * Type of Entrance Examination (Recommendation, Self-recommendation, General, Adult, International Students)
- * Entrance Examination Category (April Admission (1st, 2nd, and 3rd term) or Fall Admission)
- * Your major

○入学手続について **Inquiries on enrollment procedures**

学務課学務企画係 Educational Affairs Office, Educational Coordination

TEL : 075-724-7133 Phone : +81-75-724-7133 e-mail: gakumu@jim.kit.ac.jp

○入学料・授業料の免除制度及び奨学金制度について

Inquiries on registration fee and/or tuition exemption system and scholarship system

a: 入学料・授業料の免除制度について Inquiries on registration and tuition fees' exemption system

学生支援・社会連携課経済支援係 Student Support and Community Outreach Office, Financial Support

TEL : 075-724-7143 Phone : +81-75-724-7143 e-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp

b: 奨学金制度について Inquiries on scholarship system

学生支援・社会連携課経済支援係 Student Support and Community Outreach Office, Financial Support

TEL : 075-724-7143 Phone : +81-75-724-7143 e-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp

c: 外国人留学生向け奨学金制度について Inquiries on scholarship system for international students

国際課留学生係 International Affairs Office, Student Exchange Services

TEL : 075-724-7132 Phone : +81-75-724-7132 e-mail: ses@jim.kit.ac.jp

○安全保障輸出管理について **Security Export Control in Japan**

研究推進・産学連携課 Research Promotion and Collaboration Office

e-mail : ken-apply@jim.kit.ac.jp